

令和5年度 学校評価についてのまとめ

栃木第三小学校

【成果と課題・今後の取組について】

- ・児童・保護者共通で評価が高いのは、「思いやり」の項目です。縦割りのなかよし班活動や児童会主体のあいさつ運動や人権集会等への取組の成果と考えられます。今後も、継続して取り組んでいきます。
- ・「たくましい子」の評価が、児童・教職員とも伸びています。コロナが明け、体育の授業が制限なくできるようになったり、運動会・持久走大会が滞りなく実施できたりしたことが大きいと考えられます。児童の頑張りカードからは、目標に向かって練習した成果を感じ取れ、充実感や達成感を実感できた児童が多くいました。
- ・児童・保護者共通で課題がみられるのは、「すすんで読書」の項目です。今後も、親子読書などで家庭との連携を深めたり、授業の中に工夫した言語活動を取り入れ、多読を奨励したりしていきます。ご家庭でも読書について話題にするなど、ご協力をお願いします。
- ・児童と保護者でAの評価の違いが大きい項目は、「家庭学習に進んで取り組む」です。（児童A65%、保護者A26%）量・質ともに検討していく必要があるようです。学校でも児童にあった量や内容にしたり、学習の意義を理解し、取り組めるよう指導したりしていきますので、ご家庭でもご協力をお願いします。
- ・児童の「悩み相談」については、C・Dの値が昨年同様いることから、教育相談のさらなる充実や相談ポストの再周知など、担任のみならず全職員で児童を見守れるようにしていきます。保護者との連携もさらに進めていきたいと思えます。
- ・行事のあり方、登下校の安全、子供とのかかわり方、施設設備等について多くのご意見をいただきました。真摯に受け止め、改善を図れるように対応を検討してまいります。今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。